

東京電機大学 同窓会
平成 23 年度 第 2 回 幹事会 議事録

開 催 日 時	平成 23 年 6 月 21 日 (火) 18:30 ~ 20:00
開 催 場 所	神田キャンパス 10 号館 校友会 6 階会議室
参 加 者 (順 不 同)	小林 幸宏、高見澤 計夫、小島 一記、三井 和幸、長坂 健一郎、野島 謙之助、三好 守眞、福田 文夫、鈴木 迪子、大館 昌男、石崎 泰司、西川 義人、内田 茂、野崎 隆、山名 昌男、福嶋 邦夫、山本 隆洋、田中 宏、米田 守重、松本 健治、本橋 光也、松崎 裕一、本間 章彦、大野 孝、坂田 一也 (25 名)
配 布 資 料	1. 大学同窓会 H23 年度第 2 回幹事会レジュメ 2. 東京電機大学同窓会 平成 23 年度定期総会議事録 3. 平成 23 年度 東京電機大学同窓会 定期総会議事メモ 4. (東京電機大学校友会) 第 65 回総会議事録 5. 総会運営に関わる仕組み作りの課題について (小島役員) 6. 広報委員会 H23 第 2 回幹事会資料 7. 総務委員会開催報告書 8. 東京電機大学同窓会 平成 23 年度第 1 回幹事会議事録 9. H23 年度 大学同窓会幹事会 名簿・出欠簿 10. 東京電機大学同窓会会則 11. 東京電機大学校友会定款 (含む施行細則)
議 事 内 容	作成者 松崎、小島 (加筆、修正)

I. 小林会長挨拶

幹事会の議題を事前に通知するので、学生のバックアップ、大学の発展等に結び付くよう多くの幹事の方の発言及び意見をお願いしたい。

II. 議事録確認及び出欠簿 < 総務 >

小島役員より次の発言があった。

- 今回は議事録の確認は行わないが、議事録の確認方法を検討している。
- 何名かは幹事会に出席/欠席の事前連絡がないので、幹事の意識を高めるために出欠簿を暫くの間配布する。

III. 校友会関係他、報告 < 会長 >

5 月 21 日に校友会の評議会及び総会が開催された。(公益法人制度を改正する) 法律により校友会は平成 25 年 11 月 30 日までに新法人 (一般社団法人) に移行しなければならないので、来年の総会には定款変更について付議されることになる。

6 月 1 日付けで役員の変更があった。昭和 44 年工学部電気通信工学科卒業の渡辺貞綱氏が理事長に、小林会長が副理事長に就任した。石崎泰司幹事は引き続き副理事長。野崎幹事と相原副会長が理事に選任された。

法人移行に関する討議を今年 8 月に集中して行う予定であるが、その中で同窓会の会則等も検討されることになると思われる。10 月 29 日に神田キャンパスで OB 交歓会を行うが、全国支部長会を行うことが計画されている。

県支部総会が埼玉(6月4日)、神奈川(6月5日)、千葉(6月11日)、岐阜(6月12日)で開催され、短大縦の会(6月11日)及び教職校友会(6月18日)が開催されたので、会長、副会長で分担して出席した。

IV. 新幹事推薦

相原副会長から次の方を新幹事とする推薦があり、小島役員が紹介した。自己紹介後に新幹事として承認された。

- 氏名 坂田 一也 (47 歳) 昭和 61 年 3 月理工学部・経営工学科卒業
勤務先は東京電機大学中学校・高等学校 事務室 (室長)

V. H23 総会議事録の工学情報への掲載<小林会長、総務>

1. 経緯説明<会長>

工学情報夏号のゲラ刷りを確認したところ、総会資料が非常に読み辛かった。総会資料は出席者に配布し、ホームページに公開されているので、より多くの人に読んで頂けるよう配布資料 2 の通り同窓会の議事録を作成し、議事録署名人にも承認を貰い、議事録を掲載することに変更した。尚、議事録の下に空欄ができるので、そのスペースに秋葉祭、錦祭、鳩山祭の OB 交歓会の案内を記載した。

野島幹事より次の意見がだされ、来年以降の総会について検討することになった。

工学情報夏号は校友会の会員にしか送付されない。卒業生は全て同窓会の会員なので、総会議事録を工学情報に掲載するのであれば、掲載が少し遅れても卒業生全員に送付される(住所判明者) 工学情報冬号に掲載するべきではないか。

2. H23 総会議事録の作成方針と幹事会への説明について<総務>

校友会の総会議事録を手本にして簡単な内容で総会議事録を作成した。これとは別に内部資料として、総会議事メモを作成し、質疑応答等の記録を残す。

VI. 総会運営に関わる仕組み作り<総務、規定、事業>

次の事について小島役員から簡単な報告行われた。社団法人である校友会での仕組みを調査すると詳細に明文化されているが、同窓会としては明文化せず、総会運営マニュアルレベルとする方向で仕組み作りを検討して行く。

- 総会議長、議事録署名人、議事録書記 (選任の仕組み)
- 総会議事録 (作成の仕組み)

VII. (仮称) 同窓会創立 60 周年記念事業準備委員会の設立<会長>

来年の総会は北千住の新キャンパスで行うが、丁度 60 周年と重なる。集中して討議するため次の通り委員会を立ち上げ 7 月 5 日 (火) に第 1 回目の会合を開く。討議内容は、幹事会で報告し、各委員会で

も論議し、盛り上げて行きたい。

- 委員長及び委員

委員長: 柳田副会長、委員: 委員長・役員連絡会メンバー + α

VIII. 東日本大震災による被災地支部への支援 < 小林会長、役員 >

支援支部候補及び支援額の決定

会長より災害救助法の適用を受ける青森、岩手、宮城、福島、茨城、栃木、千葉の7県支部にそれぞれ5万円を見舞金として送ることが報告された。但し、茨城県支部総会が6月25日に開催されるので、茨城についてはその際に直接手渡す。

IX. 野島幹事よりご提案の議案 < 会長 >

野島幹事より次の提案を行った旨の説明が行われた。

校友会の法人移行に伴い、同窓会として校友会にどうして欲しいかの要望書を提出する必要があるのではないか。場合によってはプロジェクトチームを結成して、真剣に検討し、提案若しくは申し入れを行う必要がある。

校友会では、同窓会を校友会の内部組織とする方向で検討が進んでいる。何れにしても校友会では8月に定款の見直しを集中して行う予定、及び同窓会会則についても同様司法書士の先生から検討案が提示されるので、その内容を9月の幹事会で報告して頂き、それを考慮して検討を進めて行く。まずは規定委員会で会則の検討を行う。

X. 各委員会の活動状況について < 各委員長 >

1. 規定検討委員会

7月上旬に委員会を開催するため現在日程調整を行っている。助け合い基金、会計基準、会則、校友会とどう係わって行くかなどの検討を行う。

2. 事業委員会

6月9日に委員会を開催し、ホームページに議事録を掲載した。秋葉祭、錦祭、鳩山祭でのOB交歓会、12月初旬の校外幹事会、就職セミナーへの協力、60周年記念事業の検討をして行く。校外幹事会は全額自費負担であるが、1泊2日、日帰り(旅行)或は忘年会形式のどれにするか思案中。

3. 広報委員会

幹事紹介ページを作成中であるが、写真、原稿が足りない。同窓会として活動した記録として、写真と記事を掲載し、ホームページを見やすくして今年の活動について雰囲気のでるページを作成して行く。

同窓会ホームページの右上辺りにサイト内検索のキーワードを入力する欄を設け、検索できるにすることはできないか、幹事紹介のページは閲覧者を限定することはできないかなどの質問がされた。

4. 準会員支援委員会

情報環境学部の縦の会設立委員会、応募のあったイベント支援補助金について検討を行うため7月に委員会を開催する予定。

5. 総務委員会

6月17日に委員会を開催し、全員が参加した。幹事会の運営、議事録の迅速な作成、活性化、新幹事が積極的に参加できるためのサポート等について検討した。

XI. その他

校友会の理事会での決定事項を幹事会で報告して欲しいという要望がだされた。また、坂田新幹事の所属は総務委員会とする。

以上

次回幹事会(第3回)

日時: 2011年9月21日(水) 18時30分から

場所: 神田キャンパス 10号館 校友会6階会議室